



Photosophia

フォトソフィア——横尾忠則デジタルテクナレーション展

Images and Technology Gallery Exhibition
Photosophia—Digital Technamations by Tadanori YOKOO
Aug. 1, Tue. → Sep. 24, Sun. 1995

映像工夫館作品展
フォトソフィア——横尾忠則デジタルテクナレーション展

1995年8月1日(火)→9月24日(日)

開館時間＝午前10時→午後6時〔木・金は午後8時まで〕入館は閉館の30分前まで
休館日＝毎週月曜日

観覧料＝一般・大学生500円〔400円〕／小・中・高校生250円〔200円〕

〔 〕内は20名以上の団体料金／常設展示室の観覧料を含む

会場＝地下1階映像展示室

主催＝東京都写真美術館

テレフォンサービス＝03-3272-8600



東京都写真美術館
Tokyo Metropolitan Museum of Photography

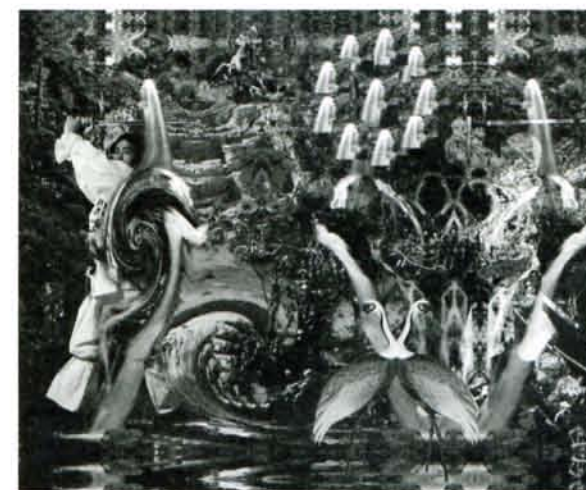
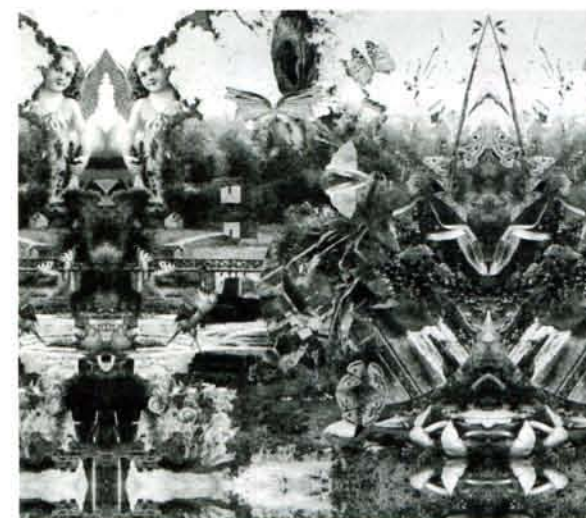
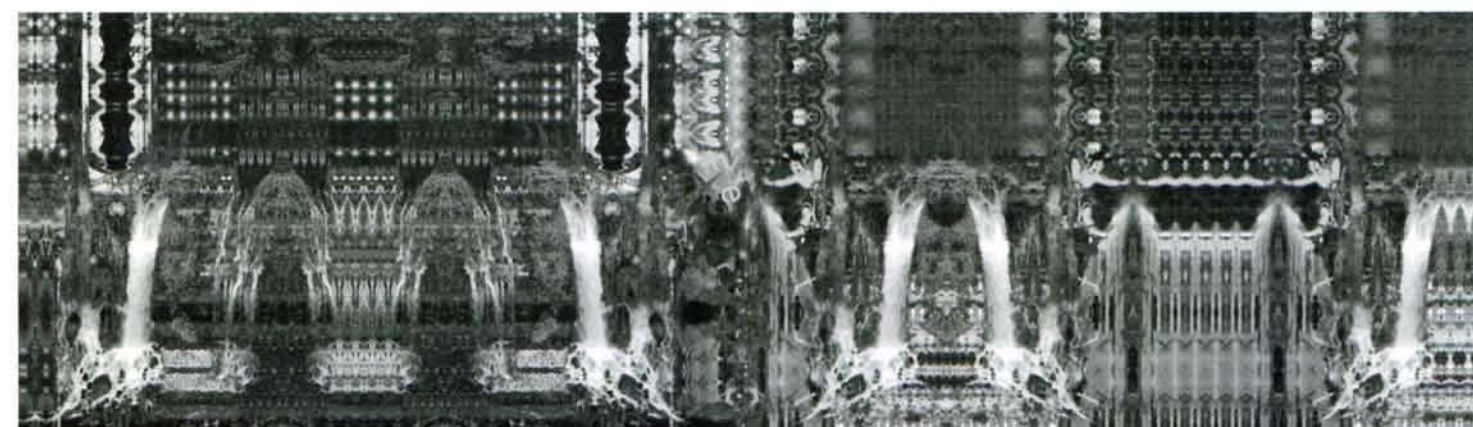
Photosophia

フォトソフィア——横尾忠則デジタルテクナレーション展

「フォトソフィア」とは、単なる「写真」ではなく、「叡知の光」を意味するラテン語です。この言葉の示す通り、どんなに時代や技法が移り変わっても、光を用いて「見る」ことへの探究から、いつも新たな幻影やスペクタクルが生み出されています。

イメージを形にするために、さまざまな絵や写真、画像を切り取ってつなぎ合わせ、まったく新しい視覚を出現させる——このような表現方法は、コラージュやモンタージュ、カット&ペースト(切り貼り)として良く知られ、映像史の流れの中でも重要な役割を果たしてきました。現代の作家たちは、写真や絵だけでなく、しばしばCG(コンピュータ・グラフィックス)を用いてイメージの変容を追求しています。グラフィックデザインや絵画の分野で活躍してきた作家横尾忠則も、近年はCGを用いた表現を展開しています。

今回は、動画の技法である「テクナレーション」にCGを導入した独自の作品群を、個展として紹介します。作家の自選による「デジタルテクナレーション」作品15点が、一挙に展示されています。また、インタラクティブな試みとしての新作CD-ROM「天使の愛」が発表されます。巨大な鏡壁に映る画面の滝が実際に輝いて流れだし、そこに幻視的風景、終わりのない幻影が出現します。今回の展示は、横尾作品の作りだすスペクタクルについてあらためて考えてみようとする試みです。



〔上から〕
世紀末ランドスケープ 1994年
自然界の秩序 1993年
ニギハヤヒと鶴 1993年
〔表〕
皆は一人のために。一人は皆のために 1993年

映像工夫館作品展
Images and Technology Gallery Exhibition
フォトソフィア——横尾忠則デジタルテクナレーション展
Photosophia—Digital Technamations by Tadanori YOKOO
1995年8月1日(火)→9月24日(日)
Aug. 1 Tue. → Sep. 24 Sun, 1995



交通機関＝J-R 恵比寿駅より徒歩7分(恵比寿ガーデンプレイス内)
お車での来館はご遠慮ください。



東京都写真美術館
Tokyo Metropolitan Museum of Photography

〒153東京都目黒区三田1-13-3 Tel.03-3280-0031
1-13-3, Mita, Meguro-ku, Tokyo 153